

ストーカー

佐藤 .. ストーカー

鈴木 .. アイドル

高橋 .. イケメン

スタッフ

田中 .. いじめっ子（ナレーションでも良い）

先生 ..（ナレーションでも良い）

お母さん ..（ナレーションでも良い）

配達員 1 ..（ナレーションでも良い）

あらすじ

いじめられていた佐藤は、唯一優しくしてくれた鈴木に執着する。やがて彼女はアイドルとして活動を始めるが、佐藤の歪んだ愛情はストーカー行為へと変貌。盗撮や差し入れ、付きまといに怯える鈴木は精神的に追い詰められていく。一方、事故をきっかけに“命の恩人”として近づく佐藤は告白するが、その独占欲と狂気を悟った鈴木は彼を刺殺。世間から「人でなし」と罵られた彼女もまた自ら命を絶ち、歪んだ救済の物語は破滅へと終わる。

（明軒 学校）

田中 おい、お前気持ち悪いんだよ!!

佐藤 ..

田中 何とか言つたらどうなんだよ!!（佐藤を殴る）

佐藤 ぐうえ

田中 うわ、しゃべんなよ、カエルの鳴き声みたいで気持ち悪い！

田中 いいか、この世界にお前の味方はいないんだよ!!

（なあ田中、次体育だぜ早く行こうぜ）

（下手にはける）

田中 ..

佐藤 （下手から出てくる）

田中 大丈夫?

佐藤 大丈夫だよ

ごめんね。かばつてあげられなくて、カエルなんて、酷いよね。
いや、鈴木さんのおかげで何とかなつている気がする。

・・・カエルか・・・でもさ、こんな考え方もあるよね。

「井の中の蛙大海を知らず」っていうことわざ知ってる?

えっ、うん

本当の意味とは、だいぶ違つて、今の生活はいいものとは言えないけど、
今的生活は人生そのものじゃないと思うんだ。だから、これから的人生いろんな人に会つて、自分の世界を広げて欲しいな。

(学校のチャイム)

じゃ、もう行くね。(上手にはける)

「井の中の蛙大海を知らず」か、

「されど空の青さを知る。」(不吉な笑み)

(暗転)

お母さん、最近誰かにつけられている気がするの

ホントに、なら、ダンスのレッスン送り迎えは私が車で行くわ。

お願い

(明転 学校)

鈴木さん、おはようございます。

お、おはよう。

眠そうだね、最近、ダンスのレッスン遅くまで頑張っているもんね。

そ、そうだね、何でダンスのレッスンのこと知ってるの?

塾の帰り道で見たことがあるからだよ。

そ、そ

あと、歌のレッスンは車での送迎はないんだね。

そ、そうだね。

(学校のチャイム)

じゃ、授業行かないと(上手にはける)

僕も行かないとな(上手にはける)

(暗転)

最近元気ないけど、やっぱりつけられている件のこと?

うん・・

そう・・実はね、この町から引っ越すことになったの。

母 鈴木

母 鈴木

佐藤 佐藤

鈴木 えつ・・・そうなんだ。

ええ、お父さんの仕事の関係でね。

いつから、引っ越すの？

母 一週間後よ。

鈴木 急いで友達にお別れ言わなきやだね

(明転 学校のチャイム)

先生 はーい、席について。今日はクラスメイトについてお知らせがある。鈴木が、急ではあるが引っ越すことになった。今日から引っ越しの準備があるから学校には来ない。

佐藤 そんな、聞いてない、鈴木さんが離れていく・・そんなのダメだ。

(暗転 アイドルの曲 欽声)

スタッフ お疲れ様です、今日も最高でした。

鈴木 はい、ありがとうございます。

スタッフ この後、握手会がありますけど、大丈夫ですか？

鈴木 大丈夫ですけど飲み物もらえます？

スタッフ 何飲れます？

鈴木 ラムネのバニラフロート

スタッフ 分かりました、頼んでおきます

鈴木 それでは、握手会を開始します。

(スタッフ上手にはける)

鈴木 はあ

(高橋上手から舞台に来る)

鈴木 今日は暑い中来てありがとう。どうだった？

高橋 すごく良かった。歌詞が胸に突き刺さる歌声にダンスがとても大人っぽくてすごく良かつた。

鈴木 ありがとう。

高橋 ああ、あとこれ、プレゼント。(狐のぬいぐるみ)
鈴木 ありがとうございます、大切にするね

スタッフ (舞台に出る)すみません、時間です。

鈴木 あと、頼まれてたものです。

高橋 じ、じゃ(上手にはける)

鈴木 (ラムネのバニラフロート飲んで)甘くていい。

スタッフ (上手にはける)次の方お願ひします。

鈴木 今日は暑い中・・・佐藤君?

佐藤 お、覚えてくれたんだ!!

鈴木 ええ、元クラスメイトだし

さつきの人とすごく盛り上がつてたけど・・

さつきの人からこれをもらつたの（狐のぬいぐるみ）

それなら、僕も差し入れあるよ。

（カバンからペットボトルを出す）

鈴木 これ・・何かな?

キヤラメルラテにさらに、はちみつを入れてみたんだ。

鈴木さん、学生の頃から甘党でしょ。

う、うん、そうだね。

スタッフ （舞台に出る）すみません、時間です。

佐藤 じ、じゃ（上手にはける）

スタッフ 今日もたくさん的人が来ましたね。

スタッフ それは何ですか？（狐のぬいぐるみ）

鈴木 ファンの人の差し入れ

スタッフ そちらはどうされますか？

鈴木 持つて帰ろうかな。

スタッフ そうですか、こちらも差し入れですか？（佐藤のペットボトル）

鈴木 なんか、キヤラメルラテにさらに、はちみつを入れたんだって

スタッフ 甘くしすぎじゃないですか？

鈴木 そうだよね。

スタッフ どうしますか？処分しときましょーか？

鈴木 申し訳ないけど、そうしてくれる？

スタッフ 分かりました。では、次の方どうぞ

（人の話し声「握手会」・暗転）

鈴木 お疲れさまでした。

スタッフ ありがとうございました。

鈴木

（鍵を開け、扉を開く音・明転）

（下手から登場）はあ、疲れた（ぬいぐるみを机に置く）

今日、いろんな人が来てくれて、まさか佐藤君に会えるとは思つてなかつたけど、全然変わつてなかつたなあ）、（上手側に移動）それよりぬいぐるみくれた人また会えるかな）、（スマホを見る）へえ～まい（鈴木の友達）

は彼氏と韓国旅行か、いいなあ、私も頑張らないと

(暗転・人の話し声「握手会」・明転)

スタッフ 次の方どうぞ。

鈴木 今日は来てくれてありがとう。

高橋 久しぶり、あのぬいぐるみどう?

鈴木 すごく気に入ってる、ベッドの上にいつもあるよ。

高橋 鈴木 ホントかなww

高橋 鈴木 ホントだよww

高橋 鈴木 でも、いきなりぬいぐるみは気持ち悪いよね

高橋 鈴木 いや、そんなことないよ、すごくうれしかった。

高橋 鈴木 マジで!!他に好きなものは?

高橋 鈴木 うーん、甘いものかな

高橋 鈴木 意外と子供っぽいんだね。

鈴木 やめてよww

スタッフ 飲み物買つきますけど、何がいいとかありますか?

鈴木 カフェラテ・・・

高橋 (おお)

鈴木 ・・・はちみつ入りで。

高橋 やっぱり子供っぽいんだねww、でもそういうところも素敵だと思うよ。

スタッフ すみません、時間です。

高橋 それじゃね(上手にはける)

スタッフ (上手にはける)次の方お願いします。

鈴木 今日は来てくれてありがとうございます。

佐藤 鈴木 久しぶり、今日のダンスもピョンピョン跳ねて可愛かったよ。

佐藤 鈴木 あのダンス苦手だったけど。

佐藤 鈴木 あっ、そういえば、さっきの人と何しゃべってたの?

佐藤 鈴木 あwwさつきの人に子供っぽいっていじられてさww

佐藤 鈴木 ゴミ虫が(サラッと)

えつ、鈴木 あつ、そういうえば、旅行行きたいんだよね?

佐藤 鈴木 は?何で知ってるの?

佐藤 鈴木 それは、鈴木さんのファンだからだよ。

佐藤 鈴木 それでき、エジプトがおおすすめだよ。

鈴木 な、何で？

佐藤 それはね・・・

スタッフ すみません、時間です。

佐藤 それじやね、あと、はちみつ置いておくね（上手にはける）

スタッフ あと、頼まれていたものです。

鈴木 （カフェラテにはちみつを入れずに飲む）

・・・ 苦い

（人の話し声「握手会」・暗転）

鈴木 お疲れさまでした。

スタッフ ありがとうございました。

（鍵を開け、扉を開く音・明転）

鈴木 今日も疲れたなあ（家の中を見渡す）

佐藤君、なんであんな話、私にしたんだろう。

（ピンポンインター）

鈴木 （驚く 恐怖）

（ピンポンインター）

鈴木 （ゆっくり下手側に）

配達員 すみません、郵便です。

鈴木 えっ、はーい（玄関を開ける）

配達員 すみません、ここにサインお願いします。

鈴木 えっ、はい

配達員 ありがとうございます。

鈴木 なんだろ？（郵便物を開ける）

あの時の、はちみつ（佐藤の方）

（暗転・人の話し声「握手会」・明転）

スタッフ 次の方どうぞ

高橋 あれ、今日、彼女いないんですか？

スタッフ （上手から登場） そうですね、今日は来られてないです。

高橋 そうですか。分かりました（上手にはける）

スタッフ 次の方どうぞ

佐藤 あれ、今日、彼女いないんですか？

スタッフ （下手から登場） そうですね、今日は来られてないです。

佐藤 そうですか。分かりました（下手にはける）

(人の話し声 「握手会」・暗転)・(机を舞台から出す)

スタッフ お疲れさまでした。

(明転・照明を街頭の明かりのように)

鈴木 (マスクをつけ、体調を崩している様子。上手から下手に移動)

佐藤 (ゆっくり様子を見ながら、上手から下手に移動)

鈴木 (何か異変を感じて、歩く速度を速く、下手から上手に移動)

佐藤 (歩く速度を速く、下手から上手に移動)

鈴木 (走り出す、上手から下手に移動)

佐藤 (走り出す、上手から下手に移動)

鈴木 (走る、下手から上手に移動)

佐藤 (走る、下手から上手に移動)

鈴木 (走る、下手から上手に移動)

鈴木 (走る、下手から上手に移動)

(暗転)・(机出す)

鈴木 (鍵を開け、扉を開く音・明転)

鈴木 はあ、はあ、はあ・・・

鈴木 (怯え)

鈴木 (インターほん)

鈴木 (インターほん)

鈴木 (ドアをノック・インターほん)

鈴木 (ドアをノック・インターほん)

鈴木 (ドアをノック・インターほん)

鈴木 (ドアを殴る・インターほん)

鈴木 (ドアを殴る・インターほん)

鈴木 (ドアを殴る・インターほん)

鈴木 (ドアを殴る・インターほん)

鈴木 もうやめてよ!!

(下手から、封筒を郵便ポストから出たように)

鈴木 (封筒を拾って、中身を見る)

うわー、(手が滑って封筒の中身がひっくり返る)

(封筒の中身・折り紙で作ったカエルを大量・盗撮写真)

鈴木 キャー (怯え)

(暗転)・(場面が町中に移る)・(明転)

鈴木 (コーヒを持ちながらボーッとしながら歩く)

もう、もう、もう、逃げたい、逃げたい逃げたい
逃げたい逃げたい逃げたーい !!

(車のクラックション、車のブレーキ音)・(暗転)

高橋 危ない!!

(救急車)・(椅子と机を持つてくる)・(明転)

鈴木 (椅子に座つて眠つている。そして、目を覚ます。)

ここは?

高橋 病院です。気が付きましたか?

あっ、

高橋 いや、驚きましたよ。何とか大事にはなりませんでしたけど
そのようですね。助けてくれたんですか?

高橋 そうなんですよ、彼が、

鈴木 ありがとうございま・・(佐藤が上手から登場)
高橋 彼があなたを助けてくれたんです。

鈴木 そ、そうですか。

高橋 いや、本当にかつこよかったです。誰よりも先に飛び出して、彼女を守
る様はまるで、おとぎ話に出てくる王子様のようでした。僕は、人の命が
関わる仕事をしているので、僕は、あなたのような人を本当に尊敬しま
す、ねえ。

鈴木 そ・・・そうですね。

佐藤 そんなにたいしたことではないですよ。僕は、僕として、当然のことをして
ただけですし、じ、実は、僕はあなたのことが好きです。

高橋 そうなんですか!いや、でも、あなたはとても、頼りになりますし、何せ
この方の命の恩人ですからね。

鈴木 ちょっと考えてもいいですか?こんなのは誰にでもできることじゃないから
(冷たい感じで)

佐藤 そ、そうだよね、待つてる。(上手にはける)

高橋 なんか、すごいことになりましたね。でも、俺応援します。

鈴木 そうなりますよね。あ、りがとう。

高橋 では、今日は、おやすみなさい。

(暗転)

高橋 いや、いよいよ彼の告白の返事をする日ですね。

鈴木 そうですね(冷たい感じで)

高橋

なんだか元気ないですね？何かありました？
ちょっと、朝食がのどを通らなくて
それは大変だ、白湯でも作りましょうか？

鈴木

いえ、水が手元にあるので大丈夫です。
そうですか

高橋

変なこと、聞くのですが、
はい？

鈴木

あなたから見た佐藤さんでどんなイメージですか？
そうですねえ、本当に尊敬できる方です。なんか、あなたのことをすべて
理解しているいい人だと思います。

鈴木

そうなんですね

高橋

更に、あなたの命の恩人ですからね
大丈夫ですよ。きっと大丈夫です。

鈴木

そうですね。（水を一口で飲み切る）

（暗転）・（明転）

佐藤

答えは決まつた？

鈴木

決まつたよ。

うん、もちろん、分かるよ、私もそのつもりだから。
そう、そうだよね。良かつた、だつたらさ、ここでキスしようよ、それ
でさ、僕は、あなたの王子様になれる気がするから。
・・・

鈴木

（包丁で、佐藤を刺す）
いや、いくよ
なつ、なんで。
何でって、あんたが私の邪魔をしたから。だから、ハ、ハハ、ハハハハ
(なんか、鈴木さん、自分の命を救ってくれた男性を刺し殺したんだつ
て)

佐藤

女性2 鈴木 佐藤 鈴木 佐藤 鈴木 佐藤
女性1 鈴木 佐藤 鈴木 佐藤 鈴木 佐藤
女性2 て
(えへ、どういうこと、普通にヤバくない、ありえないし、どういう神経

してるの？）

女性1
（そうだよね、人間じゃないじゃない？）

女性2
（ありえるWW）

高橋
（あんなに、立派な人を、刺し殺すなんて、この人でなし）

女性1
（この人でなし）

女性2
（人でなし）

スタッフ
（人でなし）

鈴木
（自分に包丁の刃先を向けて自害）

（暗転・完）